

医療安全マスター養成プログラム 継続研修(第4回 Day3・Day4)のご案内

Day1・Day2ご受講の皆様、“あのとき”の、学びほぐしのための研修はいかがでしたでしょうか。研修で得た知識や学んだ言葉は、日常の業務に活かしているでしょうか。

今年度、医療安全マスター養成プログラム(Day1・Day2)をご受講いただいた方を対象に、知識の定着と日常業務への応用を考えるための継続研修(第4回 Day3・Day4)をご案内します。

Day1・Day2の復習に加え、今考えるべきトピックとして「心理的安全性」や「多様性」といったキーワードについても、現場での実践を目標に皆で理解を深めます。

旬のキーワードから医療安全への理解をさらに深めるとともに、ネットワーキングのための機会ともなります。ぜひご参加ください。

対象

医療安全マスター養成プログラムDay1・Day2を
ご受講済みの方
→受講後は修了証を発行します。

日程

2023年11月19日(日)・12月3日(日)
[Day3]10時~17時 [Day4] 10時~17時(予定)

形式

オンライン開催 (Zoom Meeting使用)

費用

66,000円(税込)

定員

60名
(先着順)

講師

(敬称略)

長谷川 剛 (上尾中央総合病院 情報管理特任副院長)
辰巳 陽一 (近畿大学医学部附属病院 教授)

進行

(予定)

心理的安全性とは、誰もが
気兼ねなく意見を述べるこ
とができ、自分らしくいられ
る文化のことを言います。
組織やチームが「失敗から
学ぶ」ためにも不可欠な概
念です。



	コンテンツ	形式	内容
DAY 3	ピアティーチング 学び合い	GW	Day1・Day2の講義の中で重要な項目を取り上げ「学び合い」を行います ☑今回は、事前に皆様に資料(講義動画)を作成していただく予定です(事務局もサポートしますのでご安心ください)。
	最近の話題から: 心理的安全性と 多様性(仮) ~組織・チームで取り組 むために~	講義 GW	医療安全管理者として業務を進めていく中で欠かせない「組織として」「チームとして」の意思決定。心理的安全性の考え方や、多様性への対応も視野に入れつつ、「では、どうするか」まで踏み込んだ議論を行い、実践のヒントを探ります。
DAY 4	事例を通じて	講義 GW	現場で直面しがちな事例提示を通して、実際のアプローチや対応策等を考えます。倫理的な課題、法的な課題への対応も含めた包括的な演習を行います。
	全体リフレクション	講義 GW	研修で学んだことを日常にどう活かしていくか対話を通じて内省を進めます。

申込

以下URLよりお申し込みください。

<https://jq-edu.jcqhc.or.jp/seminar/3439/> (7/3 14時~)

(公財)日本医療機能評価機構 教育研修事業部 教育研修課(川崎・木村)

Tel: 03-5217-2373(直通) E-mail: kenshu@jqhc.or.jp

2023.07.03